

京大病院の基本理念

- ① 患者中心の開かれた病院として、安全で質の高い医療を提供する。
- ② 新しい医療の開発と実践を通して、社会に貢献する。
- ③ 専門家としての責任と使命を自覚し、人間性豊かな医療人を育成する。

京大病院広報

KYOTO UNIVERSITY HOSPITAL NEWS

2015.01
vol.105

CONTENTS

- 特集Close Up①**
最新ニュース
2014 京大病院オープンホスピタル
地域や学生の方に本院の取り組みを
広く紹介しました。 1
- 特集Close Up②**
スペシャリストインタビュー
“治る神経内科”を掲げ
てんかん・運動異常生理学講座とともに。 4
- 医 Medical**
最先端医療シリーズ/低侵襲かつ根治的救済治療
「食道がん化学放射線療法後の根治的救済療法」を開発。 7
iPSスペシャル対談Vol.6
京大病院 消化器内科 教授 千葉 勉
X
京都大学 iPS細胞研究所(CIRA)臨床応用研究部門 教授 川口 義弥 9
- 交 Communication**
京大病院トリア 06
がん研究・治療の新拠点、
積貞棟が完成しました。 11
読むクスリ
処方されたお薬は
一度整理しましょう。 12
- 楽 Interest**
今日の「京の食事」
13
- 知 Information**
トピックス
15



特集 Close Up ①

最新ニュース

2014 京大病院オープンホスピタル

地域や学生の方に 本院の取り組みを 広く紹介しました。

京大病院の各部門、各病棟の取り組みを紹介し、医療職をめざす方向けには見学ツアーを行う「2014 京大病院オープンホスピタル」を開催。多くの来場者をお迎えしました。



京大病院の今を伝え、 さまざまな「体験コーナー」を設置。

秋晴れの美しい11月15日(土)、京大病院は700名の来場者でにぎわいました。京大病院の今をお伝えするオープンホスピタルは地域の皆さんに好評で、毎年楽しみにしてくださっている来場者が増えています。

外来棟アトリウムホールでは、北病棟、南病棟、積貞棟、ICUなど、各病棟の取り組みや最新情報を「パネル展示」で紹介するとともに、病棟勤務の看護師が来場者の方に内容を詳しくお伝えしました。また、看護部、薬剤部、検査部、放射線部、医療器材部、疾患栄養治療部など各部門では、どんな取り組みをしているかをポスターで展示。本院で実際に使用している医療機器を紹介し、京大病院の質の高い医療行為を見てもらうブース出展も行いました。

「体験コーナー」では、小さな子どもからお年寄りまで、幅広い世代の方に医療現場を体感してもらいました。シミュレーターを使って注射器で採血を体験する採血シミュレーション、一次救命処置法、実際に教育ツールとして使われているシミュレーターを使って耳の中を見る体験、また腹腔鏡手術で使用する機械を操作する体験にも長い列ができました。

メタボチェック、血糖値測定、筋力テストに参加してご自身の健康状態を確認する地域の方も年々増え、本院のオープンホスピタルを上手く活用いただいています。また、化粧品メーカーによるハ

ンドマッサージの実演や子どもたちが白衣を着て記念撮影するキッズナースコーナーなど、家族で参加できるイベントにもにぎわいました。ホスピタルストリートでは、看護部出版書籍や総長カレーをはじめとする京大グッズの販売を行いました。



VOICE! 就職案内・見学ツアーに 参加した学生の皆さんの感想



【検査部】
検査部の見学ツアーは珍しいので貴重な経験だと思い、岐阜県から参加しました。検査部の幅広い部門の業務や企業と協力して新技術を開発している京大病院の取り組みに感動しました。

(岐阜県 大学1年生)



放射線部見学ツアー



検査部見学ツアー

医療職をめざす学生を対象に 見学ツアーを開催しました。

京大病院オープンホスピタルは、医療職をめざす学生の方や転職を考えている看護師のみなさんにとって、働く場としての本院を知っていただく機会でもあります。そこで、看護部では就職相談コーナーを常設し、業務についての説明や就職に関して希望者の皆さんと直接お話をする場を設けました。

放射線部と検査部では、仕事の内容や医療機器を実際に見てもらい「見学ツアー」を2回ずつ開催しました。放射線部では、診療放射線技師をめざす学生の皆さんを対象に、MRIと高精度放射線治療装置、そして乳房撮影装置を紹介。最新機器による最先端治療について説明を受けた参加者は、熱心に話に聞き入っていました。検査部では、検査部・病理部・輸血細胞治療部の3部門での業務を紹介しました。安全性を担保しながらの高度な検査やそ

の先進性に触れ、懸命にメモを取る参加者が多く見られました。ツアー終了後の質疑応答でも、検査部の取り組みや体制について、さまざまな質問が寄せられました。

見学ツアー参加者からは「京大病院のことを知るよい機会になった」「大学での実習が始まる前に現場を見る貴重な経験ができた」「参加してよかった」という声が聞かれました。

エントランスホールでは、ミニコンサートが2つ開かれました。京大の職員・学生による混声合唱「かるかも♪あんさんぶる」が温かなハーモニーで会場を癒し、京都市立芸術大学による弦楽四重奏団は、美しい弦の響きで来場者をもてなしてくれました。恒例となっている「京大病院寄席」では、噺家初の気象予報士、桂文之助さんと桂鯛蔵さんによる落語で、会場は笑いの渦に包まれました。



放射線部見学ツアー



かるかも♪あんさんぶる



京大病院寄席



【放射線部】

最先端の医療機器を実際に自分の目で見て、詳しく説明していただくことで京大病院の先進性がよくわかり、大学病院に就職したいという気持ちが一層強くなりました。がんばって勉強します。

(兵庫県 大学2回生)



【看護部】

初めて京大病院に来ました。立派な施設・設備はもちろん、想像以上に明るく温かな雰囲気には驚きました。就職相談コーナーでは看護師の方に親身に相談に乗っていただき、うれしかったです。

(京都府 大学1回生)